

心房細動用アブレーションクリニカルパス

様

患者用

日付	入院当日	治療当日	治療後1日目	治療後2日目退院日
観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>足の甲の脈の触れをみます</li> <li>足先の温かさをみます</li> <li>動悸(ドキドキするか)をみます</li> </ul>	治療後は以下のことを観察します <ul style="list-style-type: none"> <li>カテーテルを入れたところの出血が無いかみます</li> <li>足の甲の脈の触れをみます</li> <li>足先の温かさをみます</li> <li>息苦しさがないかみます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カテーテルを入れたところの出血が無いかみます</li> <li>足の甲の脈の触れをみます</li> <li>足先の温かさをみます</li> <li>息苦しさがないかみます</li> </ul>	
安静	治療終了以降は制限があります その他の日は制限がありません	・治療の前に尿の管を入れます <治療終了>  <医師診察> ↓ 4時間または8時間 ↓ 4時間または8時間 <絶対安静> <ベッド上安静> <病棟内を歩けます> ・足を曲げることが出来ませ ・ベッド上で起き上がれます ・尿の管を入れておきます		
食事	制限ありません 主治医から指示がある場合それに従ってください	*食事の有無・摂取方法は以下の様になります ・朝食は中止か軽食になります ・昼食は寝たまま介助になります ・夕食はベッドの上で座って食べられます ・治療前の薬は少量の水で飲んでください それ以降は、治療終了まで控えてください ・治療終了後は、医師より飲水制限の指示がある場合はその範囲となります	主治医からの指示がある場合はそれに従ってください いつでもどうり食事ができます	
清潔	・除毛後に入浴できます	・入浴はできません (ばんそう膏をはがさないでください)	・入浴はできません ・ばんそう膏は入浴まで貼っておきます ・入浴は退院翌日からできます	
排泄	・安静の項目を御参照ください			
処置	・下腹部から膝上までの除毛を行います ・足の甲にマジックで印を付けます	・検査後4時間または8時間程で医師が針を刺したところの出血状況の確認、消毒を行います ・止血固定テープ部の拭き取りをします ・手術前に排尿の管を挿入し、手術後に抜去します		
検査	必要時、入院時に心電図、レントゲン、採血を行います。	・治療後、必要時心電図モニターを装着します	・必要時、退院前に心電図、レントゲンを撮ります	
薬物療法	・持参薬を提出してください 薬の内容を確認し医師の指示の物を内服していただきます	・血糖降下剤は中止、又は治療後内服していただきます ・利尿剤は中止、又は治療後内服していただきます ・抗生剤を治療当日から2日間内服していただきます ・治療当日に点滴を行います	 	
説明 退院計画	・病棟内の御案内をします ・医師・看護師が治療の説明をします ・治療の同意書の確認をします ・治療に必要な持ち物の確認をします	・検査室へ行く前に以下のものを外してください 眼鏡・コンタクトレンズ・時計・ピアス・義歯・指輪 ネックレス・ヘアピン・化粧・下着・靴下・マニキュア ・検査室へ行く前にトイレを済ませ、病衣、T字帯に着替えてください ・治療後、医師から結果説明があります (今後の治療方針など)		
指導	・入院治療計画書をお渡しします	・治療結果による内服薬の変更がある場合、薬剤師より薬の説明があります		
目標	1.治療について説明内容が理解でき、納得して治療が受けられる	2.治療後の合併症(気胸・出血・腰痛)出現時、早期に発見され対処される		3.退院後の生活注意点が理解できる

※症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります 2004年4月作成(2012年5月10日改訂) パス委員会承認 聖隷浜松病院A3病棟